

3 業務体制・運営業務・管理業務

評価項目		自己評価		市		
仕様書項目		内 容	評価点	評価内容	評価点	評価内容
業 務 体 制	職員配置等 9(4)~(8)	資料・図書館学習・システム担当	3	資料担当責任者：仕様書の通り業務を行った。 図書館学習担当者：学校やこども園へ司書の選書により団体貸出を行った。 システム担当者：適宜迅速に対応した。	3	適切に実施している
		職員の資質向上・人材育成の取組	4	広島県立図書館主催の4月「広島県情報ネットワーク研修」5月「音訳者・音訳ボランティアのための著作権セミナー」11月「レファレンスサービスのコツ研修」へ各1名参加。図書館流通センター主催の9月「児童書選書研修」10月「絵本の読み聞かせ研修」12月「事故防止・交通安全運転研修」を実施。	4	関係機関の研修に参加するなど、職員の資質向上や人材育成に熱心に取り組んでいる。
運 営 業 務	利用者サービス 10-(2)(6)(17)(18), 15-(2)	窓口サービス	4	正確かつ迅速な対応を心掛けた。 問い合わせをしやすい環境づくりに努め、利用者アンケートの意見欄でも職員について、「いつも丁寧に 対応してくれる」「親切に気持ちよく対応してくれる」などの意見をいただいた。	4	職員の接遇について、利用者からの満足度は高く、利用者に寄り添った対応ができています。
		リクエスト	3	資料収集方針に基づき購入。購入できない場合は、相互貸借により対応した。	3	適切に実施している。
		レファレンス	3	利用者の課題解決への対応に努め、調査依頼に対応した。	3	適切に実施している。
		乳幼児・児童と保護者	4	12月東広島竹原人権委員協議会との共催にて「クリスマスキッズ・ハート教室 ～こども人権教室～」へ参加し、絵本読み聞かせを実施した。	4	他団体とも連携し、適切に実施している。
		青少年	4	中学校・義務教育学校(後期課程)へYA通信を配布し、読書の大切さや楽しさなどの啓発に努めた。また、竹原中学校(1年生)へ電子図書利用推進を目的とした出前授業を実施した。	4	本を通して青少年の健全育成に寄与している。
		高齢者・障害のある人	3	高齢者の方へ、資料の検索・予約について、スマホやPCからweb予約ができる説明を行い、利用推進に務めた。	3	適切に実施している。
		学習支援	3	学校図書館司書や学校教職員の求める資料を提供した。	3	適切に実施している。

	評価項目		自己評価		市	
	仕様書項目	内 容	評価点	評価内容	評価点	評価内容
運 営 業 務	利用者サービス 10-(2)(6)(17)(18), 15-(2)	郷土資料コーナー	4	令和7年7月より,「陶芸家 今井政之」「没後60年 池田勇人」「三村剛昴」コーナーを展開し,郷土関係者の歴史,郷土文化に関する資料の収集及び展示に努めた。	4	竹原市の実施している取組みと連動した活動により双方に相乗効果があったと見込まれる。
		特設コーナー	4	新着図書コーナー, 行事コーナーなど, 時事ニュースに合わせ幅広い分野の資料紹介を実施。俳句ポストでは,今年度も応募された作品の中から, 雑誌「現代俳句」4・6・7・8・9・11月号に入選者各1名が選出され, 館内掲示でお知らせをした。市民の方へ,更に認知及び俳句投句に尽力していく。	3	適切に実施している。
		利用者からの意見・要望等の対応	3	「利用者の声」投書箱への投書はなし。今後も意見・要望の投書には,出来るだけ迅速に回答していく。	3	適切に実施している。
		利用者満足度調査等の実施	3	館内での利用者アンケート(期間:令和7年12月2日～12月28日 人数265名)を実施。意見欄において,職員について,「いつも丁寧に对应してくれる」「親切に気持ちよく対応してくれる」などの意見をいただいた。	3	適切に実施している。
		個人情報保護	3	図書館流通センター主催での「個人情報保護研修」を全スタッフ受講。個人情報保護における認識を更に高め, 漏洩防止に努めた。	3	適切に実施している。
資料管理 10-(3)(4)		資料収集計画の策定	3	資料収集方針に基づき,これまでの蔵書構成を踏まえた計画を策定した。	3	適切に実施している。
		蔵書構築	3	資料収集計画を策定し,これまでの蔵書のバランスを保ちつつ, 近年の傾向も取り入れた。	3	適切に実施している。
		資料選定・受入発注	3	蔵書バランスを考慮のうえ選定し, 発注, 受入を行った。	3	適切に実施している。
		資料の除籍・廃棄	4	昨年改定した除籍基準に沿って除籍を行った結果,蔵書冊数を17,553冊減冊した。(2025年度1月末 188,849冊から2026年1月末現在 167,231冊)また,10ヶ所の停本所において,開設以来実施できなかった蔵書見直し及び入替を2025年12月に完了した。	4	蔵書目標150,000～160,000冊に向けて,市立竹原書院図書館資料除籍基準により,適切な除籍処理ができており,蔵書目標の達成が見込まれる。停本所の蔵書の見直し・入替が完了し,市民に新たな本にふれる機会を提供できた。
		資料の整理(蔵書点検)・防虫等	3	防虫作業を5月～7月,蔵書点検を11月に実施した。	3	適切に実施している。

評価項目		自己評価		市	
仕様書項目	内 容	評価点	評価内容	評価点	評価内容
行事の企画・実施 10-(5)	絵本の会	3	4月(8月・12月を除く)より毎月第2土曜日に定例の絵本の会を実施。毎年の恒例行事として根付いてきた。参加者からは楽しかったの声を頂いた。	3	適切に実施している。
	おはなしひろば (旧文庫まつり)	3	読み語りグループの協力により、あそびのひろばの開催継続実施。準備、設営など滞りなく実施した。.	3	適切に実施している。
	読書会	3	読書会における会場・課題本の手配や資料の準備、図書館ホームページに感想文の掲載を行った。	3	適切に実施している。
	新規・自主事業	4	[新規事業] 6月歴史資料の整理・保存として、図書館HPにて図書館貴重所蔵品絵図11点をデジタル画像で取り込み、ネット環境があれば誰もが閲覧可能にした「竹原デジタルアーカイブ」を公開。同じくHPへ「雑誌スポンサー制度の導入」として募集要項を作成し、募集告知を実施。2月「町並み保存地区との連携」として、道の駅たけはらにてえほんの読み聞かせを実施。 [自主事業] 6月～3月「竹原学 歴史講座」第1回～第5回開催実施。(参加者各回30名)12月地元市民による市民のための公演企画として、「ファンタジーの世界ようこそようこそ」開催実施。(参加者 120名)	4	図書館資料をデジタル化し、図書館HPにおいて「竹原デジタルアーカイブ」として公開するとともに、読み語り講座などの講座を実施するなど、新規・自主事業を多く取り組んでいる。
学校、こども園等との連携 10-(7)	団体貸出等	3	学校、こども園、保育所への団体貸出を継続して行った。先生からのリクエスト本に対し、図書の準備及び貸出対応を行った。	3	適切に実施している。
	見学・体験学習の受け入れ	3	[図書館見学] 荘野小学校,中通小学校,東野小学校,からの申し出があり、対応した。 [キャリア・スタート・ウィーク] 竹原中学校2名,忠海学園1名受入、図書館業務,司書業務の説明及び指導を行った	3	適切に実施している。
	学校図書館司書との連携	3	学校図書館司書の連絡会を毎月行い、求める資料の収集、提供を行った。	3	適切に実施している。
広報 10-(8)(20)	図書館ホームページの運用	3	図書館のホームページを継続運用し、適宜情報を発信した。	3	適切に実施している。
	「としょかんだより」等の広報	3	毎月発行し,市内地域に回覧。各月ごとでの図書及びイベントの最新報告を掲示。	3	適切に実施している。

	評価項目		自己評価		市	
	仕様書項目	内 容	評価点	評価内容	評価点	評価内容
	電子図書サービスの運用 10-(9)	電子図書資料管理	3	小説と調べ学習のコンテンツを中心に、電子図書を前年度より251冊拡充した。25年12月末現在1,651冊(2025年3月末1,400冊)	4	特に教育に資する電子図書資料の拡充が進められている。
運 営 業 務	電子図書サービスの運用 10-(9)	利用案内	3	電子図書の情報を、毎月ホームページやX、新刊案内、図書館だより等で発信を行った。 保健センターにて、絵本及び育児関連本の紹介を行った。	3	適切に実施している。
	移動図書館 10-(10)	移動図書館の巡回	4	訪問スポット数40ヶ所を継続。蔵書不足のフォローとして、「おたすけ号」にて地域に見合ったおすすめ本をコンテナに入れて利用者へ提供し、地域の皆様とのふれあいを大事にしながら巡回を行った。	4	昨年度より増加した訪問スポット数40ヶ所をお継続しつつ、「おたすけ号」による利用者にあった蔵書提供がされている。
		車両の点検	3	日常点検、定期点検を行った。	3	適切に実施している。
	移動図書館 10-(10)	事故発生時の対応	3	6月、学校巡回中に先方の過失によりわかたけ号への接触事故が発生。現場対応処置後、事故報告、その後速やかに修繕対応を実施。	3	事故発生後の対応について適切に実施された。
	図書館ボランティア 10-(11)	読み語りボランティアとの連携	4	ボランティア団体との連携により、今年度もおはなしひろば(旧文庫まつり)を開催した。また、地元市民による市民のための公演企画として、「ファンタジーの世界ようこそようこそ」開催実施。(参加者 120名)	4	読み語りボランティアとの連携により、以前から要望のあった市民むけのイベントが実施され、好評であった。
		図書館ボランティアの構築	3	今年度1名登録。計7名。配架・修理を主に活動した。今後もボランティア募集を継続していく。	3	図書館ボランティアが増加し、ボランティアと連携した取組みが実施されている。
	県内図書館等関係機関との連携 10-(12)		3	各関係機関との連携、協力を努めた。	3	適切に実施している。
	事業（月次・年次）報告実施状況 14-(1)		3	毎月の月次報告を適切に行った。	3	適切に実施している。
	施設及び設備の保守管理 11-(1) , 12		3	施設の保全に努めた。	3	適切に実施している。
	施設及び設備の清掃・衛生・維持管理管理 11-(3)		3	日常の定期清掃及び年3回のワックスかけ・窓清掃を委託し実施した。	3	適切に実施している。
管 理 業 務	緊急時対応及び安全管理 11-(2)(9)(10)		3	5月・11月、フジ竹原店の避難訓練指示書に従い、避難訓練及び防火教育をスタッフ全員で受講した。	3	適切に実施している。
	備品等の管理 11-(4)		3	備品台帳に基づき管理を行った。	3	備品台帳を作成し、適切に管理できている。
	テナント関係機関との連携・協力 11-(10)エ		3	フジ竹原店の会議に参加するなど、関係機関との連携に努めた。	3	適切に実施している。

*評価点について

評点の考え方	点数
特に優れている	4
出来ている	3
概ね出来ている	2
改善が必要(劣っている)	1

4. 総合評価

評価者	評価点	内 容
指定管理者	3	令和2年策定,市立竹原書院図書館運営計画の蔵書冊数(システム契約200,000点以下)目標150,000～160,000冊への取組として,昨年改定した除籍基準に沿って除籍を行った結果,2025年1月時点の188,849冊(蔵書点数184,784)から2026年1月現在167,231冊(蔵書点数163,166点)と17,553冊の減冊を実施。除籍基準改定前の2024年3月末時点の201,880冊から約35,000冊の減冊が出来,目標達成が現実化した。また,昨年から取り組んでいる10ヶ所の停本所蔵書見直し及び入替について,2025年12月忠海東停本所入替を行い,10ヶ所全ての停本所の蔵書入替が完了し,利用者の利便性を高めることが出来た。 竹原歴史資料の保存では,図書館貴重所蔵品絵図11点をデジタル画像で取り込み,ネット環境があれば誰でもが閲覧を可能にした竹原デジタルアーカイブを6月1日に公開。第2弾として所蔵品より拓本9点及び竹原町時代の広報たけはら(昭和28年～35年)のデジタル化に着手。今後も竹原町並み保存地区や塩田などにも取り組み,郷土文化・伝統を継承していく。 講演会においては,竹原市ときめき講座と連携し,「竹原学 歴史講座」と「ファンタジーの世界によるこそようこそ」を開催。「竹原学 歴史講座」においては,2年ぶりに年5回開催実施。前回同様に全ての講座が満席となり,郷土の歴史・文化における知識向上の喜びや楽しさの普及に尽力した。「ファンタジーの世界によるこそようこそ」は地元読み語りボランティア「ブックレストランたまてばこ」と市民による市民のための公演企画として取り組み,市民へ幻想的な世界を楽しんでいた。参加者からの高評価もあり, 今後も市民が喜んでいただけるイベント事業を継続していく。
市	3	指定管理最終年（5年目）となり、図書館サービス及び管理運営業務を適切かつスムーズに運営できている。また、次期指定管理業務のために市が求めた関連資料の作成に協力された。 蔵書冊数については、目標の150,000～160,000冊に向けて、前年度改定した市立竹原書院図書館資料除籍基準により除籍処理がすすみ、目標の達成が見込まれる状態に進んでいる。 10ヶ所の停本所において,蔵書見直し及び入替がされ、市民に新たな本にふれる機会を提供できている。 小型車わかたけ4号の運行とおたすけ号の運行により、訪問スポット40カ所で地域にあった蔵書提供がされ、市民ニーズに沿った運用ができている。 読み語りボランティアや他機関と連携した取組みの実施がされ、図書館ボランティアの確保にもつながっており、市民とより誓い図書館となっていると感じられる。 この5年間、全国の図書館の受託による管理運営や事業展開により培った図書館運営のノウハウと人材ネットワークを活かし、図書の蔵書の整理、市民との連携、市民ニーズに沿った図書館サービスの充実がされたと評価する。